

# いの流水俳壇

「当季雑詠」

特選

## 大根を持って帰れと浩太の声

植田 紀子

〔評〕10月、いの流水俳壇の元選者で指導者でもあった間浩一郎(浩太)さんが亡くなられた。何事にも熱心で特に俳句、短歌と幅広く活躍され、たくさんの秀句を残された。また句の野菜作りも得意で、揚句のように大根を土産にもらったときの穏やかで優しい浩太さんの声が今でも耳の奥深く残っていることを追悼句として詠んだ。葬儀に出席した私も折からの秋雨に「晩秋の雨添う久遠の別れかな」の句を捧げた。露の世の久遠の別れの悲しさ切なさが胸に沁む。謹んで哀悼の意を表し、心からのご冥福をお祈りします。

## ひとときの叢雲分かつ十三夜

國田 貞子

〔評〕十三夜とは旧暦9月13日の夜、「後の月」とも呼ばれ、今年10月13日であった。「月に叢雲」のことわざどおり今年も雲で月はほとんど見えな。しかし作者はあきらめることなく空を見上げてみると、「ひととき」ほんの少しの間、叢雲をかき分け十三夜の月が顔を出した。まるで昔の恋人にでも逢ったかのように、懐かしさとうれしさいつぱいの十三夜であった。

## 杖引きて小鳥の声を補聴器に

片岡 包女

〔評〕老年の証の一つに難聴がある。しかし現在では優れた補聴器が販売されている。高齢の作者は杖を引き、補聴器を付け、日課のウォーキングで山里の散歩道を歩いていると山から澄んだ小鳥の声を補聴器がキャッチした。「ああ小鳥の声が聞こえる」その感動を一句にしたためた。情景がよく見え、杖と立つ作者も見えてくる。

入選

## 天高し術後の妻の安堵顔

岡村 嘉夫

〔評〕心配した妻の手術も無事に済み、愛妻のほっとした安心の笑顔「天高し」の措辞で、うれしさが一段とアップした。

## 追ひ抜かれゆくたのしさも花野かな

東谷 晴男

〔評〕秋草の色とりどりに咲き乱れた花野をゆつくり歩いていると、後から若者たちが追いついていく。それもまた花野故の楽しさ。

## 子等のこと過ぎし日のこと柚湯かな

川村 博子

〔評〕柚湯に入り静かに目を閉じて遠く離れ住む子どもたちのこと、過去の様々な出来事など思いはつきない。ゆとりの柚湯は至福の一時である。

二句抄

## 柿の葉は三原色で散にけり

大川 節弥

## 晩秋や友の影なき同窓会

竹崎たかひろ

## 人生の晴れのち曇り秋の空

島村かりん

## 魚跳んでる川の面の冬の月

小野川町子

## つゆ草や渚のような朝の空

森岡 照月

## 数珠玉に願いを込めてつなぎけり

田島てい子

## さり気なく過ぎす一と日の菊香る

平野 洋子

## 秋晴れに背中押されて山散歩

野菜畑夜露のかかり生き生きと

## 秋風に身を委ねつつ野辺散歩

締切/毎月1日

## 次題「当季雑詠」

投句先 教育委員会事務局

いの町170011

89311922

# 今月のごども川柳

ありがとう みんなうれしく なる言葉

伊野小 4年 岡田 花

〔評〕小学4年生の素晴らしい川柳句におどろく。「ありがとう」と言われて怒る人はいない。こんな小さなことに心を止めて川柳に詠んだ小学4年生、本当にありがとう。

だれとでも 仲良くならう やさしきで

枝川小 5年 西村 華愛

〔評〕人それぞれに持っている優しさ、思いやりの心、素敵です。大切にしましょう。そして、みんなと仲良く暮らしましょう。今月の1句目2句目ともに優しさと思いやりを大人が教えられました。

算数は 一つ一つが 階段だ

枝川小 3年 深瀬 心美

山あれば 心も体も やわらぐよ

枝川小 5年 大野 裕暉

こっそりと ひみつをはなせる 友だちに

川内小 4年 市川 あい

友だちは 一つになっても 友だちだ

伊野小 3年 濱田 晴輝

おこられて せいちょうするぞ ぼくたちは

枝川小 3年 西本 海慎

せきがえは どきどきするけど たのしいよ

枝川小 2年 泉 奏蘭

秋になり 葉っぱがチラチラ ふつてくる

川内小 4年 竹倉 みお

おかあさん だいすきすぎて なきそうだ

枝川小 3年 西村 蓮

「こども川柳」は町内全小学校の児童の皆さんを対象に募集しています。次回提出締め切りは1月10日(火)です。たくさんの方の応募をお待ちしています。(応募は各小学校を通じてお願いします。)

※選評は、川柳連会の皆さんにお願いいたします。

## ◆DV電話相談のご案内◆ DVは、配偶者や恋人に対する体や心への暴力のことです。

相談先	高知県女性相談支援センター (配偶者暴力相談支援センター)	こうち男女共同参画センター 「ソール」	警察
対象	DV被害に苦しんでいる方(男女不問)	女性、男性	DV・ストーカーに関する相談
電話番号 相談時間 など	☎ 833-0783 平日 9:00~22:00 土・日・祝日 9:00~20:00 (年未年始を除く。)	女性向け ☎ 873-9555 毎日 9:00~17:00 (※第2水曜日・祝日・年末年始を除く。) 男性向け(予約制) ☎ 873-9100 第1・3火曜日、第4水曜日 18:00~20:00	お近くの警察署又は 県警本部県民支援相談課 (#9110又は☎ 823-9110) 夜間・休日は、当直員対応 緊急の場合は、110番へ